

7. 調査結果（路上駐車状況）

① 駐車場への入庫待ち車両

- 路上で駐車場への入庫待ちをする車両は、市役所、大規模商業施設、機械式立体駐車場周辺で発生している。

【表3 路上で入庫待ち車両が発生している駐車場の状況】

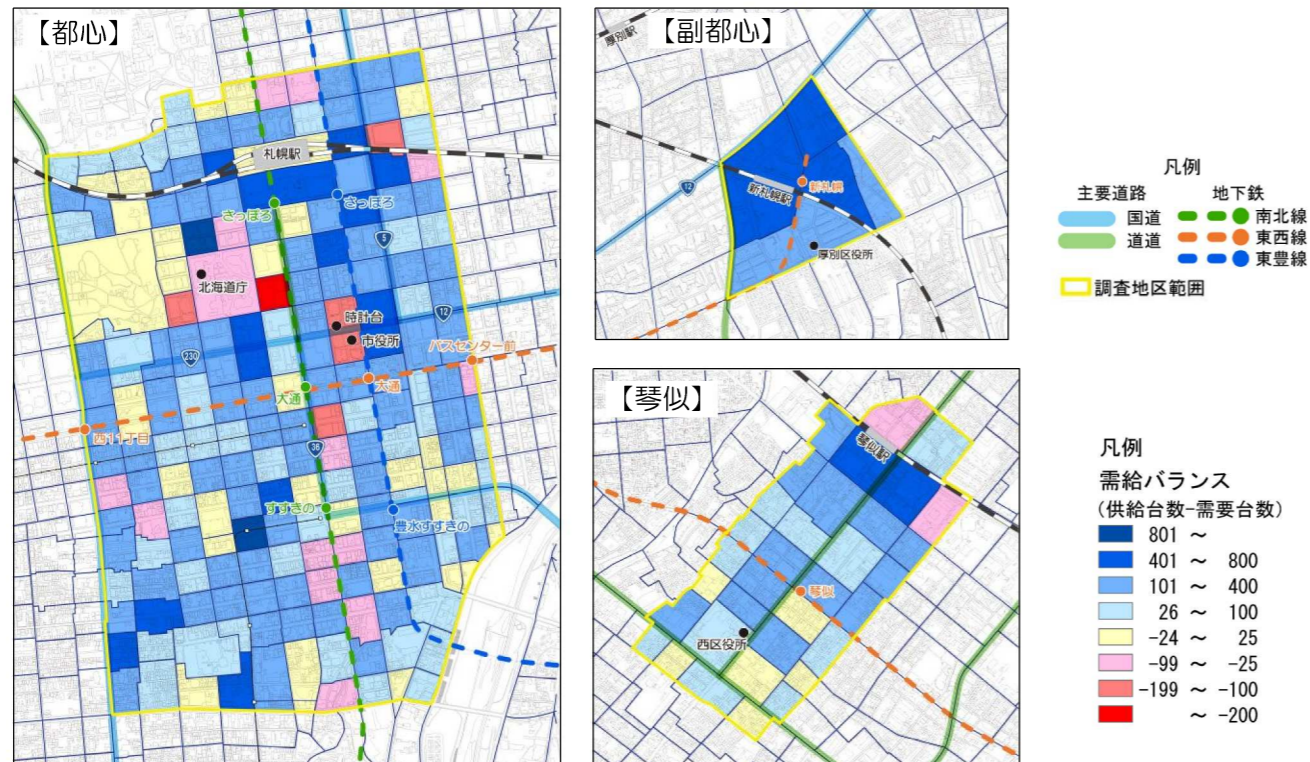
曜日	駐車場名	駐車場の構造	時間帯別の路上で駐車場への入庫待ちをしている車両数(台)																		ピーク時	ピークの時間帯	ピークの時間帯の駐車場在車率
			7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20							
平日	A駐車場	自走式立体								12									12	11時台	100.0%		
	B駐車場	平面							11	7	2	5	11	5	3				11	11・15時台	100.0%		
	C駐車場	機械式立体				3	8	10	2										10	12時台	58.4%		
	D駐車場	機械式立体				2	3	2						2	8	5	7	8	8	16時台	24.0%		
	E駐車場	自走式立体				2	4	5	4	5	5	4	2						5	12・14・15時台	55.0%		
	F駐車場	機械式立体				5		2	2										5	8時台	63.2%		
	G駐車場	機械式立体				2				2									2	8・13時台	65.6%		
休日	H駐車場	自走式立体								11	27	41	61	28					61	15時台	88.9%		
	I駐車場	機械式立体			4	3			4	7	5	8	3					8	15時台	94.4%			
	J駐車場	自走式立体				7	16		18	25	9	16	8	5					25	13時台	47.5%		
	K駐車場	機械式立体							3	2	2	3	3					3	12・15・16時台	48.9%			
	L駐車場	機械式立体							2			2	2					2	12・16・17時台	81.6%			

8. 乗用車の収容台数と需要台数のバランス

① 乗用車の駐車場の現在のバランス

- 調査を行った3地区の乗用車の収容台数と需要台数の現在のバランスは、図20のとおりである。
- 駐車場が不足している街区の需要や路上駐車・入庫待ち車両は、隣接する街区の駐車場に収まる量であり、乗用車の駐車場は需要に対して余裕がある。

【図20 現在の平日の需給バランス(H22)】



② 乗用車の駐車場の将来予測

将来的に乗用車の駐車場が不足しないかを確認するために、20年後（平成42年）の予測を行った。

【表4 平日の将来の需要台数と収容台数の予測(H42年)】

地区名	現在の需要台数	現在の収容台数	伸び率	20年後の需要台数	20年後の収容台数	20年後の在車率
都心	20,634	48,431	1.12	23,110	46,020	約50%
副都心	2,758	4,935	0.93	2,565	3,393	約76%
琴似	3,755	6,977	0.92	3,455	3,925	約88%

その結果、3地区すべてで、収容台数が駐車台数を上回ることから、現在の附置義務を継続することで、20年後も、需要に対応する駐車場を確保できるものと考えられる。

20年後の在車率を見ると、都心地区が約50%となっており、他の2地区より余裕がある。

○ 予測条件

- 将来の需要台数は、現在の需要台数に、第4回パーソントリップ調査の自動車交通の将来の伸び率を乗じて算出。
- 将来の収容台数は、
 「現在の収容台数」 + 「現在築30年以上の建物を、同規模・同用途で建替えた場合の附置義務台数」
 - 「附置義務以外の平面駐車場の収容台数」 - 「附置義務以外の立体駐車場の収容台数の減少分」
 により算出。

9. 荷さばき車両

① 荷さばき車両の駐車場の現状

- H13年度に荷さばき駐車場の附置義務を課してから10年しか経っておらず、多くの建物で荷さばき駐車場が確保されていない状況にある。

「現在の附置義務荷さばき駐車場」 都心 : 25箇所 78台

- 特に都心部では、貨物車の路上駐車が多く、道路混雑の一因となっている。

② 荷さばき車両の駐車場の将来予測

- 20年後（平成42年）の附置義務荷さばき駐車場は次のとおりである。

「将来の附置義務荷さばき駐車場」 都心 : 278箇所 556台

○ 予測条件

- 将来の収容台数は、「現在の収容台数」 + 「現在築30年以上の建物を、同規模・同用途で建替えた場合の附置義務台数」により算出。

10. まとめ

乗用車の駐車場は、現在、需要に対して余裕があり、また、現在の取り組みを継続することで、20年後も供給が需要を上回る。

荷さばき駐車場は、現在不足している状況にあるが、現在の取り組みを継続することで、荷さばき駐車場の設置が進むものと考えられる。